

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公開番号】特開2013-37878(P2013-37878A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-172855(P2011-172855)

【国際特許分類】

H 0 1 M 2/34 (2006.01)

H 0 1 M 2/20 (2006.01)

H 0 1 M 2/10 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 2/34 B

H 0 1 M 2/20 A

H 0 1 M 2/10 E

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月9日(2013.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正極及び負極の電極端子を有する単電池を複数並べてなる単電池群の電極端子間を電氣的に接続するバスバーと、前記バスバーを保持する樹脂プロテクタとを備える電池配線モジュールの、前記樹脂プロテクタを覆うカバーであって、

前記樹脂プロテクタは、前記電極端子間のピッチのずれに応じて、変形可能または移動可能とされ、

前記樹脂プロテクタの変形または移動に起因する位置ずれを調整するずれ調整部が形成され、

前記ずれ調整部は、他の部分よりも肉厚が小さい複数の薄肉部と、2つの前記薄肉部の間に形成され前記薄肉部よりも肉厚が大きい肉厚部とからなることを特徴とする電池配線モジュールのカバー。

【請求項 2】

前記樹脂プロテクタには係止部が設けられ、

前記係止部に係合した状態で、前記薄肉部および前記肉厚部の並び方向と交差する方向に移動可能な被係止部が設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の電池配線モジュールのカバー。

【請求項 3】

前記樹脂プロテクタに対して位置決めされる位置決め部が設けられていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の電池配線モジュールのカバー。

【請求項 4】

正極及び負極の電極端子を有する単電池を複数並べてなる単電池群の電極端子間を電氣的に接続するバスバーと、前記バスバーを保持する樹脂プロテクタと、前記樹脂プロテクタを覆うカバーとを備える電池配線モジュールであって、

前記樹脂プロテクタは、前記電極端子間のピッチのずれに応じて、変形可能または移動可能とされ、

前記カバーには、前記樹脂プロテクタの変形または移動に起因する位置ずれを調整するずれ調整部が形成され、

前記ずれ調整部は、他の部分よりも肉厚が小さい複数の薄肉部と、2つの前記薄肉部の間に形成され前記薄肉部よりも肉厚が大きい肉厚部とからなることを特徴とする電池配線モジュール。

【請求項5】

前記樹脂プロテクタには係止部が設けられる一方、

前記カバーには前記係止部に係合した状態で、前記薄肉部および前記肉厚部の並び方向と交差する方向に移動可能な被係止部が設けられていることを特徴とする請求項4に記載の電池配線モジュール。

【請求項6】

前記カバーには、前記樹脂プロテクタに対して位置決めされる位置決め部が設けられていることを特徴とする請求項4または請求項5に記載の電池配線モジュール。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するものとして本発明は、正極及び負極の電極端子を有する単電池を複数並べてなる単電池群の電極端子間を電氣的に接続するバスバーと、前記バスバーを保持する樹脂プロテクタとを備える電池配線モジュールの、前記樹脂プロテクタを覆うカバーであって、前記樹脂プロテクタは、前記電極端子間のピッチのずれに応じて、変形可能または移動可能とされ、前記樹脂プロテクタの変形または移動に起因する位置ずれを調整するずれ調整部が形成され、前記ずれ調整部は、他の部分よりも肉厚が小さい複数の薄肉部と、2つの前記薄肉部の間に形成され前記薄肉部よりも肉厚が大きい肉厚部とからなることを特徴とする電池配線モジュールのカバーである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、本発明は、正極及び負極の電極端子を有する単電池を複数並べてなる単電池群の電極端子間を電氣的に接続するバスバーと、前記バスバーを保持する樹脂プロテクタと、前記樹脂プロテクタを覆うカバーとを備える電池配線モジュールであって、前記樹脂プロテクタは、前記電極端子間のピッチのずれに応じて、変形可能または移動可能とされ、前記カバーには、前記樹脂プロテクタの変形または移動に起因する位置ずれを調整するずれ調整部が形成され、前記ずれ調整部は、他の部分よりも肉厚が小さい複数の薄肉部と、2つの前記薄肉部の間に形成され前記薄肉部よりも肉厚が大きい肉厚部とからなることを特徴とする電池配線モジュールである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

前記ずれ調整部は、他の部分よりも肉厚が小さい複数の薄肉部と、2つの前記薄肉部の間に形成され前記薄肉部よりも肉厚が大きい肉厚部とからなる構成なので、肉厚が小さい薄肉部が折れ曲がることで伸縮可能とすることができ、簡易な構造で樹脂プロテクタの位

置ずれの調整を行うことができる。

本発明は以下の構成としてもよい。